

2017年1月度 家計分析

提出者数 128名の提出がありました。登録者は138名、提出率は92.8%です。たくさんのご提出ありがとうございます。前月より7名減り、前年比では26名の減となっています。みなさま体調には十分気を付けて、残り1年のご提出を宜しく願いいたします。

収入 給料は前年比で（夫）98.3%、（妻）107.0%です。夫の収入減を共働きの妻がカバーする構図が読み解けます。賞与（夫）が前年比147.0%と伸びていることから、業種・業態によっては緩やかな景気回復が見てとれます。パートアルバイト収入（夫）は131.2%で、働けるうちはできるだけ働きたい、もしくは働かざるを得ないと考える世帯が増えているようです。

非消費支出 社会保険計は前年比103.9%で、働き盛りの世代で上位にランクインしています。社会保険料はおそらくこれからも家計を圧迫することでしょう。一方、税金計は、年末調整による還付金の関係で60代を除いてランク外となりました。非消費支出はコストカットがとても難しいですが、生命保険や損害保険は見直しによる経費削減が可能です。適切な内容であるかどうか、定期的な確認をお願いいたします。

消費支出 食費は前年比92.7%ですが、60代以上と年金世帯で1位にランクインしています。子や孫の帰省に伴い、外食等を楽しまれた方もおられるようです。比較的暖かなお正月であったため、水・光熱費が91.5%と節約傾向にあります。40代と50代世帯では相変わらず教育費の負担が増大しています。内訳は受験料・授業料・冬季講習代となっています。交際費を押し上げているのは60代と年金世帯です。また教養娯楽費3位に入っていることから余暇を謳歌するシニア層が多いようです。内訳をみると旅行の他、滞在型リゾートクラブの年会費が含まれていました。昨今アクティブな方がとても増えています。通信費・交通費・理容衛生費の各項目が1月にしては比較的落ち着いています。それぞれに自助努力されている姿が目につかぶようです。

ランキング

	総 合	20～30代	40代	50代	60代	年金世帯
1	食費 65261	社保 75608	教育 94012	教育 89230	食費 63178	食費 61448
2	社保 53981	家地 70663	社保 75134	社保 85782	交際 51005	交際 52512
3	教育 42441	食費 52048	食費 65629	食費 73304	教娯 28092	教娯 27303
4	交際 41109	私保 36894	家地 50417	家地 52414	社保 27431	水光 24202
5	職主 33647	教育 36580	自動車 41842	職主 48303	職主 26298	職主 22862
6	私保 28882	職主 32513	職主 34225	私保 45908	水光 23834	社保 22743
7	家地 28444	自動車 19967	私保 33346	交際 39043	税金 18794	保医 18235